



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2023年8月号(327号)



「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」第9期の活動がスタートしました(P2)



「2024 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています(P3)



愛知県の「環境学習プログラム」が消費者庁長官賞を受賞しました(P3)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」Web ページは
こちらから→



今月号とバックナンバーを掲載しています。





「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」

第9期の活動がスタートしました



持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生 40 名が研究員となり、パートナー企業・団体 8 社から提示された環境課題に対して解決策を提案する「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の活動がスタートしました。

6 月 25 日（日）に愛知県自治センターで開催した開所式には、研究所の所長である大村知事、第 9 期の研究員、パートナー企業・団体の皆さん、ファシリテーターの皆さんが出席しました。



開所式



大村知事挨拶

大村知事からは研究員へのお祝いと激励の挨拶があり、パートナー企業・団体の皆さんからも研究員の活躍に期待を寄せるコメントをいただきました。

また、研究員を代表して、愛知淑徳大学の鴻巣真里華さんから「私たちならではの発想で魅力ある解決策を提案できるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。」と熱意あふれる抱負が述べられました。

7 月から、現地調査や企業・団体担当者とのディスカッションなど、本格的な研究活動を行い、12 月には、その成果を発表する予定です。



研究員代表
鴻巣真里華さん



パートナー企業と研究員のミーティング

県は、持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を推進しており、若者らしい斬新な視点で解決策を提案する研究所の活動を通じて、研究員が未来の「環境リーダー」に成長することを期待しています。

（環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン））

パートナー企業・団体（50音順）	環境課題
(株) アルペン	スポーツを未来につなげるために、スポーツ小売にできる新たなアクションを検討せよ
(株) ウッドフレンズ	国産木材の利用を促進し、森林資源をサステナブルに活用するための情報発信策を企画せよ
(株) 加藤建設	建設業が「SDGs に貢献できる憧れの職業 No. 1」になるための企画を検討せよ
(株) サンゲツ	サステナブルな社会へ繋げよう！「みんな参加型のエコシステム」を企画せよ
敷島製パン (株)	健康で豊かな食生活に役立つサステナブルな製品・サービスを考案せよ
西尾信用金庫	にししんアプリや SNS を活用した家庭や地域でのエコ活動を企画せよ
(株) バローホールディングス	フードロス削減に向けて子どもと取り組めるプログラムを提案せよ
(株) マキタ	環境配慮型製品の普及を促進し、サステナブルな社会に貢献するための PR 戦略を検討せよ

「2024 愛知環境賞」へのエントリーを 募集しています



愛知県では、2005年の愛知万博を契機に、企業、団体などが行う先駆的で効果的な環境取組の事例を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞、優秀賞

2 募集対象者

企業、団体又はグループ（個人の応募は不可）

3 募集対象事例

サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など、資源循環や環境負荷低減を推進する先駆的で効果的な愛知県内の〈技術・事業〉及び〈活動・教育〉



AICHI
Environmental
Award
愛知環境賞
ロゴマーク

4 応募期限

9月29日（金）まで（必着）

5 応募方法

応募用紙（Webページから入手可）10部及びCD-R等の電子媒体1部を資源循環推進課へ直接お持ちいただくか、郵送（〒460-8501（住所記載不要））してください（Eメール不可）。

6 選考結果の公表

12月下旬予定

詳細はWebページをご覧ください。
(<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou/>)



資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233（ダイヤルイン）

愛知県の「環境学習プログラム」が 消費者庁長官賞を受賞しました



愛知県では、動画やゲームを通して食品ロスについて学ぶ教材「食品ロス削減環境学習プログラム」を2019年度に作成し、県民の食品ロス削減意識の醸成を図っています。

今回、この教材が教育現場で役立つ優秀な教材を表彰する「消費者教育教材資料表彰2023」（主催：（公財）消費者教育支援センター）において、消費者庁長官賞を受賞し、6月30日に表彰されました。

「食品ロス削減環境学習プログラム」は、小学校の授業等で活用しやすいよう、導入（動画）、体験（クイズすごろく）、振り返り（解説動画、ワークシート）から構成されています。また、小学校の授業時間に合わせて、所要時間を45分程度にするとともに、指導者がプログラムを進めやすいよう、プログラムの流れ、指導のポイント、補足資料等を記載した指導者用マニュアルも作成しています。

愛知県食品ロス削減Webサイトから動画の視聴やクイズすごろく等のダウンロードができるほか、動画が収録されたDVD、クイズすごろく等の教材を貸し出していますので、小学校の授業や学習施設の講座、市町村やNPOのイベント等で、是非ご活用ください。



クイズすごろく

(<https://kankyo.joho.pref.aichi.jp/foodloss/learning-program.html>)



資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）

「2022 年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」についてお知らせします



愛知県は、水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定により作成した「2022 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき、関係機関とともに県内の水質調査を行いました。結果の概要は、次のとおりです。

1 公共用水域の水質調査結果

(1) 健康項目

河川、湖沼、海域の 138 地点のうち、1 地点で 1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しなかったものの、その他の項目及びその他地点の全ての項目で環境基準を達成しました (2021 年度同様)。

(2) 生活環境項目

環境基準の達成率は下表のとおりです。達成率の長期的な推移としては、河川の生物化学的酸素要求量 (BOD)、海域の全窒素及び全りんについては改善傾向にあり、海域の化学的酸素要求量 (COD) については概ね横ばいで、湖沼の COD については未だ達成していません。また、2022 年度から河川において新たに環境基準項目となった大腸菌数の測定及び評価を開始しました。

【環境基準(生活環境項目)の達成水域数及び達成率】

	調査項目	類型指定水域数*1	環境基準達成水域数	環境基準達成率	
河川	BOD	49	47	96%	
	大腸菌数*2	27	16	59%	
	水生生物保全環境基準	全亜鉛 /ニルフェノール LAS	39	93%	
			42	100%	
湖沼	COD	1	0	0%	
	水生生物保全環境基準	全亜鉛 /ニルフェノール LAS	1	100%	
			1	100%	
			1	100%	
海域	COD	11	5	45%	
	全窒素	6	6	100%	
	全りん		5	83%	
	水生生物保全環境基準	全亜鉛 /ニルフェノール LAS	9*3	9	100%
				9	100%
9				100%	

*1 河川及び海域については調査項目により類型指定水域数が異なります。

*2 大腸菌数は環境基準点ごとに評価を行うため、類型指定水域数は類型指定された水域の環境基準点数で、環境基準達成水域数は環境基準点における達成数です。

*3 三河湾の類型指定に伴い、2022 年度から 9 水域で達成状況を評価しています。

2 地下水の水質調査結果

県内の地下水の水質の概況を把握するため 107 地点で調査 (概況調査) を行った結果、9 地点で環境基準を超過した項目がありました。そのうち、今回新たに環境基準の超過が判明した地点については、井戸所有者へ井戸水の飲用を控えるよう注意喚起等を行いました。

また、地下水汚染が判明した地域の継続的な監視 (定期モニタリング (継続監視) 調査) や地下水汚染の汚染範囲等の確認 (汚染井戸周辺地区調査) も行いました。

【環境基準の超過地点数】

調査区分		調査地点数	環境基準超過地点数
概況調査	メッシュ調査	88 (88)	7 (7)
	定点調査	19 (19)	2 (2)
定期モニタリング (継続監視) 調査		156 (248)	95 (113)
汚染井戸周辺地区調査		19 (74)	4 (10)

() 内は井戸の本数を示す。



採水作業の様子

3 今後の対応

引き続き調査を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例等に基づき、事業者に対する指導、生活排水対策等を総合的に推進し、環境基準の達成・維持に努めていきます。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2022suishitsu-taiki.html>)



水大気環境課 調整・計画グループ
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン)
水・土壌規制グループ
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)

「2022年度大気汚染調査結果」について お知らせします



愛知県は、大気汚染防止法に基づき、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市及び豊田市とともに、二酸化硫黄等の大気汚染状況の常時監視及び有害大気汚染物質等のモニタリングを行っています。

2022年度の調査結果の概要は、次のとおりです。

1 大気汚染常時監視結果

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質（PM_{2.5}）については、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントは、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しませんでした。

環境基準の達成状況

項目	二酸化硫黄		二酸化窒素	
	一般局	自排局	一般局	自排局
局区分*	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	19	4	59	23
達成測定局数	19	4	59	23
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	一酸化炭素		浮遊粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
局区分	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	2	9	59	24
達成測定局数	2	9	59	24
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	光化学オキシダント		微小粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
局区分	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	62	13	42	17
達成測定局数	0	0	42	17
環境基準達成率	0%	0%	100%	100%

* 一般局は地域を代表する点に設置されている一般環境大気測定局のことで、自排局は幹線道路沿いに設置されている自動車排出ガス測定局のことで。

2 有害大気汚染物質等モニタリング調査結果

環境基準等が定められているベンゼンなど 15 物質については、全ての測定地点で環境基準等を達成しました。

3 今後の対応

引き続き常時監視やモニタリングを行うことで、環境基準等の達成状況を把握するとともに、大気汚染防止法、自動車 NOx・PM 法、県民の生活環境の保全等に関する条例、愛知県 NOx・PM 総合対策推進要綱等に基づき、工場、事業場などに対する固定発生源対策や自動車環境対策等の各種大気汚染防止対策を総合的に推進し、環境基準等の達成・維持に努めます。



朝宮大気汚染測定局（一般局）



大気環境測定車

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/taikiosen-tyosakekka.html>)

愛知県 大気汚染調査結果

検索

水大気環境課 大気調査グループ
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン)

「2022年度ダイオキシン類調査結果等」 についてお知らせします



愛知県は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき 2022 年度に実施したダイオキシン類の環境調査結果及び事業者による測定結果を取りまとめました。結果の概要は次のとおりです。

1 環境調査結果

国土交通省中部地方整備局、県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、豊田市及びその他 11 市町が大気環境、水環境及び土壌環境のダイオキシン類の調査を実施しました。

その結果、大気環境（35 地点）、水環境（公共用水域の水質（44 地点）、底質（40 地点）、地下水（16 地点））及び土壌環境（15 地点）について、全ての地点で環境基準を達成しました。

【環境調査結果】

調査項目	調査地点数	環境基準達成地点数	濃度範囲	環境基準	単位*2
大気	35	35	0.0078 ～0.047	0.6 以下*1	pg-TEQ/m ³
水	水質	44	0.036 ～0.95	1 以下*1	pg-TEQ/L
	底質	40	0.078 ～60	150 以下	pg-TEQ/g
	地下水	16	0.014 ～0.084	1 以下*1	pg-TEQ/L
土壌	15	15	0.0015 ～6.4	1,000 以下	pg-TEQ/g

*1 年間平均値で評価

*2 TEQ とは、ダイオキシン類の異性体の中で最も毒性の強い 2,3,7,8-TCDD の量に換算した値として表したものの



試料採取の様子（土壌）

2 事業者による測定結果

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく大気基準適用施設（廃棄物焼却炉など）又は水質基準適用事業場（廃棄物焼却炉廃ガス洗浄施設の設置事業場など）の設置者は、毎年 1 回以上の「排出ガス」、「排

出水」及び「ばいじん及び燃え殻」に含まれるダイオキシン類濃度の測定を行い、その結果を県（名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市及び豊田市の施設等の結果については各市）に報告することが義務付けられています。

県には、排出ガスは 297 施設、排水は 20 事業場について報告があり、1 施設の排出ガスを除き排出基準に適合していました。排出基準を超過した施設の事業者には、改善対策の実施を指導しました。未報告施設の事業者には、法に基づく測定・報告を適切に実施するよう指導しました。

また、ばいじん等は 138 施設について報告があり、3 施設を除き、ばいじん等の処理に係る基準に適合していました。基準を超過した施設の事業者には、適正な処理を指導しました。

【事業者による測定結果】

測定項目	報告済施設数*1		未報告*3 施設数
		基準不適合	
排出ガス	297	1	1
排水*2	20	0	0
ばいじん及び燃え殻	138	3	0

*1 報告済施設数は、2022 年度末の数を示す（ただし、報告後廃止した施設も含む。）。

*2 排水の施設数は、事業場数を示す。

*3 未報告施設数は、2022 年度末の時点で稼働している施設数のうち、未報告の施設数を示す。

3 今後の対応

ダイオキシン類による汚染の状況を監視するため、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、引き続き環境調査を実施していきます。また、今後も事業場に対して、立入検査をし、排出基準及びばいじん等の処理に係る基準の遵守などを指導していきます。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2022dioxin-kisya.html>)



（環境活動推進課 環境リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン））

省エネルギー設備・建築物 ZEB 化の導入を 支援するための補助金の申請を受け付けています



愛知県では、県内事業者に対して、より省エネルギー性能の高い設備への更新、建築物の ZEB*化を支援する補助金の申請を受け付けています。

* ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
省エネ化と再エネの活用によりエネルギー消費量を正味でゼロにすることを目指した建築物

1 補助対象設備等

(1) 省エネルギー設備

高効率空調機器、高機能換気設備、高効率照明機器、高効率給湯機器、コージェネレーションシステム

(2) 建築物の ZEB 化

建築物の ZEB 化に資する建材や設備等

2 補助対象者

(1) 省エネルギー設備

中小企業等

(2) 建築物の ZEB 化

大企業・中小企業等

3 補助率 (補助限度額)

(1) 省エネルギー設備

補助率 1/3 (補助限度額 1,000 万円)

(2) 建築物の ZEB 化

補助率 1/3~2/3 (補助限度額 2,500 万円)

4 受付期限

12月28日(木)まで(必着)

詳細は、Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/saiene-shoene-hojokin2023.html>)



愛知県 省エネ 補助金

検索

地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)

中小事業者向けの無料省エネ相談を実施しています



愛知県では、事業者による地球温暖化対策を促進するため、省エネ対策に取り組む機会や資金、ノウハウが少ない中小事業者を対象に、専門家による省エネ相談を無料で実施しています。

1 省エネ相談の特徴

(1) 相談窓口、訪問による総合的な相談体制

相談窓口 (電話・Eメール・FAX) を開設するとともに、希望に応じて相談者への訪問を行うなど、相談者が気軽に相談できる体制を整えています。

(2) 専門家による対応

省エネの取組に精通した専門家 (電気分野・熱分野) が対応します。

(3) 要望に応じた対応

設備の運用改善によるソフト対策から、高効率な設備の導入等によるハード対策まで、相談者の要望や状況に合わせてアドバイスを行います。

また、省エネ補助金制度の紹介及び制度利用に当たってのアドバイスも行います。

2 受付日時

平日 (祝日、年末年始を除く)

9:15~17:30 (12:00~13:00 を除く)

3 相談窓口

深田電機(株) (県委託先)

電話: 050-3467-5779 / FAX: 0586-71-7713

Eメール: shoene@fukadadenki.co.jp

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/syouenesoudan2023.html>)



愛知県 中小事業者 省エネ

検索

地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)

○生き物への気候変動影響に関する調査

環境省中部地方環境事務所と気候変動適応中部広域協議会が「気候変動探偵局 生き物大移住計画を調査せよ!」を行っています。

この調査は、気候変動による生き物の分布や出現時期の変化等について知るため、中部7県内で見つけた生き物をスマートフォンアプリ【iNaturalist】で投稿する取組で、調査期間は11月30日(木)までです。特に「セミ」に関する情報(写真や鳴き声)の投稿を募集しています。

生き物の名前がわからなくても、iNaturalistアプリが、撮った写真を自動で判定してくれます。また、生き物に詳しいiNaturalistのユーザーが、生き物の名前をアプリ上で教えてくれます。皆さんも「気候変動探偵」として調査に参加しませんか。詳細は中部地方環境事務所のWebページをご覧ください。

(https://chubu.env.go.jp/earth/ad_nature_00001.html)



気候変動探偵局 2023

検索

種名	ヒグラシ	ツクツクボクシ	アブラゼミ	ミンミンゼミ	クマゼミ
成虫					
鳴き声	カナカナカナ...	ツクツクオーシ、ツクツクオーシ...	ジジジジジ...	ミンミンミンミンミン...	シャシャシャシャ...
主な活動時期	7月～9月頃 早朝と夕方	7月～11月頃 午前中～夕方	7月～10月頃 早朝と午後～夕方	7月～10月頃 午前～午後 (地域により異なる)	7月～9月頃 早朝～午前中

中部地方でよく見かけるセミ

(中部地方環境事務所Webから引用)

○気候変動適応法改正で熱中症対策強化へ

地球温暖化が世界各地で進んでいます。日本も平均気温が上昇し、熱中症による死者が1年に1千人を超える年も珍しくなくなりました。今後、地球温暖化が進行すれば、極端な高温の発生リスクも増加すると見込まれ、熱中症による被害が更に拡大するおそれがあります。

こうした状況から、国は熱中症の対策を強化するため、気候変動適応法を改正し(5月12日公布、2024年5月までに施行予定)、熱中症対策の推進を初めて法律に位置付けました。

今回の改正では、従来の熱中症警戒アラートより一段上の「熱中症特別警戒アラート」が新設されるとともに、市町村が冷房の効いた公共施設や民間施設を「指定暑熱避難施設」(クーリングシェルター)に指定できるようになります。

熱中症特別警戒アラートが発令された場合、指定された施設は、利用可能時間帯であれば、暑熱からの避難施設として利用できます。

このように暑さをしのげる場を確保することで、極端な高温時における、熱中症による重大な被害の発生防止が期待されます。

酷暑の時はできるだけ外出を避けたり、冷房が効いた公民館や図書館等をクーリングシェルターとして利用したりするなど、涼しく過ごして熱中症を予防しましょう。

環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2023年8月7日発行(第327号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

編集後記

夏本番を迎え、とても暑い時期となりました。こまめな水分補給を心がけ、体調管理に気を付けましょう。外出の際には、マイボトルを持参するとプラごみ削減にもつながります。体調にも環境にも気を使いながら、この暑い夏を乗り切っていきたいと思います。(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

